徳島大学教職員労働組合からのお知らせ
（メルマガ Vol.95）

みなさんこんにちは。徳島大学教職員労働組合です。

【学長選考結果に対する質問への回答】

みなさまご存じのとおり、学長選考会議は、学内意向調査で 2 位となった野地候補を次期学長に決定しました。しかも、その結果を報告した「学長予定者の選考結果について」は全く不十分な内容で、なぜ意向調査の結果を逆転させたのか、その理由がほとんど説明されていません。

★「学長予定者の選考結果について」はこちら↓
http://gakunai.tokushima-u.ac.jp/_files/00055390/20191115yoteisyasenkoukekka.pdf
（徳島大学学内向けウェブサイト）

この件に関して、組合には学内の多くの方から、匿名・記名を問わず、多くの意見が寄せられています。それを受けて組合では、11 月 18 日に学長選考会議に質問状を送付しました。

★質問状はこちら↓
http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/document/20191118qustion.pdf

それから 1 か月近くたち、ようやく回答が戻ってきました。

★回答文書はこちら↓
http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/document/20191205answer.pdf

一読していただければ明らかなとおり、まったく回答になっていません。残念ながら、「記述式」の設問には十分な回答が得られないようですので、組合では「マークシート式」の設問を作成し、改めて、各委員個人あてに送付することを考えています。

★質問項目（原案）はこちら↓
http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/document/20191209questions2.pdf

ご意見などがあればお寄せください。このメールに返信していただければ結構です。

【第 2 回学長懇談について】

組合では、12 月 16 日（月）に今年度第二回となる学長懇談を予定しています。主要な議題は、人事院勧告への対応（パート職員へのボーナス支給など）ですが、学内意向調査で支持されなかった点を知るために、学内アンケートなどを提案しようと考えています。質問項目を「学長選考会議委員向け質問状」と同様とすることで、選考会議委員と一般教職員との「意識のズレ」を明らかにすることも可能かと考えています。

徳島大学教職員労働組合
http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/

★第二回学長懇談申し入れ文書はこちら↓
http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/document/20191112gakucho2.pdf
（議題追加分はこちら↓）
http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/document/20191127gakucho.pdf

【予算の追加配分について】

先日、各学部宛に追加予算が配分されましたが、これは「人事管理のポイント制」により、余ったポイント（人件費）を還元したもののようです。

余ったポイントについて、もともと大学側は、全学で集めて中央管理すると言っていたのですが、組合が「学部に研究費等として返すように」と提案したのを受けいれたものと思われます。

【組合加入のお勧め】

今回の学長選考などのように、昨今の大学ではこれまでの「常識」では思いもよらないようなことが起こります。そこで個人レベルで憤っても、大学も社会も変わりません。組合を通じて行動することで、みなさまの憤りや違和感は、大学や社会を変える力になります。

また、当組合では、大学の制度改革について、制度設計の段階から意見を上げて、教職員が不利益や不都合を被らない制度を実現するように尽力しています。

まだ加入されていない皆様は、ぜひとも組合に加入して、「自分の考えを実現する力」を手にしてください。

徳島大学教職員労働組合

徳島大学教職員労働組合
http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/